

令和6年第9回教育委員会定例会議事録

招 集 日 時 令和6年9月26日（木曜日）午後1時開会／午後2時閉会

招 集 場 所 加賀市民会館2階 第2会議室

教 育 長 島谷千春

出 席 委 員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子、新滝有紀子

会議列席者 堀川事務局長、寺西政策官、北市次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、
出渕中央・山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、山村次長兼スポーツ課長、前田文化課長、
山下教育庶務課リーダー

令和6年第9回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○島谷教育長 週末にはまた運動会が二つ目の山ということで、先週もありがとうございました。学校も始まりまして、計画訪問も再開し、運動会があり、そして今連日視察対応を受けているところで、1学期に計画訪問が終わった学校に、積極的に視察対応をお願いしている状況ですが、何かしら人に見てもらって、視察に来た人と対話をしてもらって、自分たちはこういう思いでこういうことをやっているということを言語化するいい機会をいただいているなというふうに思っております。後ほど報告事項にもありますが、18日にはプレーヤーズデーということで、また全国各地から来られるということで、一つの良い研修の場にしたいなと思っております。

それでは本日は審議事項が1件、報告事項が8件ございますので、順次進めてまいりたいと思います。議案第39号、江沼神社庭園（旧大聖寺藩邸庭園）保存活用計画（案）について前田課長お願いいたします。

- 議案第39号 江沼神社庭園（旧大聖寺藩邸庭園）保存活用計画（案）について
前田課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 先ほどの概要の中で大きな項目はわかったんですけど、江沼神社庭園整備活用検討委員会というのが設けられましたということだったので、何回ぐらいの回数で設けられたのか。その中で主に協議になった中身ですね。委員会のメンバーについては以前にもこの定例会の中でお示しいただきましたのでわかっているんですけども、例えばこれからはこのような方法で江沼神社を整備すべきだというような、その内容についてわかりましたら簡単に教えていただきたいです。

○島谷教育長 前田課長、お願いします。

○前田課長 委員会につきましては4回設置をしております。計画書の4ページの方に、委員会のメンバー等は記載してございます。審議経過につきましては、その次のところに4回の委

員会を開催し、計画案について審議したとございます。主な内容につきましては整備範囲の設定と、あとはしばらくいくと絵図がたくさん出てくると思うのですが、どの当時の状況に戻すかというようなところのご意見をいただいております。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○山下委員 以前の姿に戻すというかたちなんです、この鳥瞰図を見ると、針葉樹が松、杉が見えるんですね。常緑広葉樹が見えない。でも実際は常緑広葉樹が生い茂っていると。今多くの神社などでも、常緑広葉樹とか、特に椎とかイチョウとか、水分の多い木の腐りですね。それは温暖化とかが非常に関係があると思うんですが、例えば今あるものをなくして、この図のように針葉樹だけにするとかそういうことなのか、広葉樹については全部切ってしまうのか。これから温暖化が進んでいくと、今実はうちの神社、山中の長谷部神社でも、大々的に木を伐採しています。もうエノキが危ないので、100万円くらいをかけて切らなきゃいけないという状況で。戻す状況も、今の状況なのか、それとも20年後、30年後、50年後のスパンを見てそのころにこういうかたちにしようとか、50年経つとまた変わってきますので、その辺がどういうふうに見えているのかなというのが、もしこういう委員会の場で意見が出ていたら教えていただきたいです。

○島谷教育長 前田課長、お願いします。

○前田課長 委員会の中でもそういったご意見がございまして、とにかく一旦昔の姿に、今のところ伸び放題なので一旦きれいにしましようという案がありました。そのあと、何十年にも続く保存管理でございますので、保存管理、メンテナンスの方をしやすいようなところの考え方も入れなければならないでしょうということで、例えば生け垣なんかもととなかったところのものはもう完全に撤去する予定です。植栽については、この木は残す、この木は残さないというようなところを一本一本、一応先生目で見えていただいて選別はしていたと思うので、そういった意見を踏まえて、取りあえず一旦は明治30年ぐらいの植栽の状況に戻すというところを基本にしたいと思っています。

○山下委員 何年後を目指すかというところ、要するに1回ゼロにして、これと同じように植樹をしましようとかいうかたちにするのか、その辺どうかなという部分がありました。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 整備をしてきれいになるというのは大変ありがたいことなんですけれども、今後継続して市民の方あるいは来訪者の方にこの庭園を楽しんでいただくためには、維持管理というのが非常に大きな課題になってくると思われます。資料をいただいたので、多分そういうことがきちんと書かれているんだろうと思うんですけども、この維持管理についてはどのようなかたちで今後行なっていくのかということについて教えてください。

○前田課長 維持管理につきましては所有者、江沼神社だけでは当然難しいところがございまして、整備をした後は、市の方もその管理者というところに関わる話になるのですが、やはり地元の方の協力がなければならぬということで、地元のまちづくりの方にその保存管理についてご相談はしているところでございます。保存管理につきましては、地元の方の手を借りながら、維持管理をしていくというところを考えております。

○篠原委員 地元の1人なんですけれども、全部民間ボランティアに頼っているというのは、大聖寺城についても然りなんですけれども、民間ボランティアの限度というのがありまして、い

ろんなところで民間ボランティアをやっているメンバーも高齢化してきているので、非常にその任に耐えづらいというようなところも、大聖寺城なんかでは起きてきているんですが、やはりきちんとしたかたちでの維持管理ができるような予算繰りをぜひしていただけないだろうかということが一つです。それからガイドですね。ガイド人材の欠乏と書いてありまして、そういう育成をしなきゃならないという課題が出ていますけれども、そういうようなこともやはり私自身も必要だと思いますし、できれば、願わくは福井市内にあります養浩館みたいな感じで、大聖寺の江沼神社庭園がなってくれば非常にありがたいなと。兼六園まではいきませんが、そういうようなところを願っているわけであります。現状としては非常に荒れた状態になっていますので、それはもちろん一旦はきれいになると思うんだけど、今後継続してやるというときに、やはり日常的な管理というところが大きな課題となってくるので、予算化をぜひお願いをしたいということを重ねてお願いしたいと思います。それから併せて、その横に梅花庵があるんです。梅花庵の天井絵というのが、ご存じのように吉田公均という方の非常にすばらしい絵があるんですけども、梅花庵も荒れ果てるに任せて、なんだかそのままだったらちょっとしたらまた壊れそうな状態なんです。ですからそのことも併せて、園地整備の一環として梅花庵があるということをちょっとそこに書いてありましたので、梅花庵自体の今後、それともどういうかたちで整備されていかれるのかということもちょっと教えていただけないでしょうか。

○前田課長 梅花庵につきましては、ガイダンス機能とか維持をしていくための管理的な意味合いを持たせて整備できないかということをこの計画内にはうたっております。それが実現できるかどうかというのはちょっとまだそこまで詰め切れていないのですが、そういったところは考えております。

○篠原委員 ガイドする者が常駐するような場所とか、そういうようなかたちで梅花庵を整備するというようなことだと理解させていただきましたけれども、天井絵が非常にすばらしいので、あれも放っておいたら二階にハクビシンとか何だかがきてどうなったとかいろんなことを宮司さんから話を聞いていますので、そのままだったらあの絵がなくなってしまうような危険性もありますから、もし天井絵だけだったら外せるなら外していただいて、例えば修復施設ですね。県の修理工房なんかもありますから、そういうところあたりに行って直してもらうとか、いろんなことを考えながら、やはり文化財的なものとしての梅花庵を、来訪される方へのボランティア説明員の場所みたいなところとおっしゃっていましたが、そういうようなことも考えながら、江沼神社庭園整備の中に入れていただいて、一体化した中でのそういう整備をしていただけないかなというふうに併せてお願いをいたしております。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。いろいろご指摘いただいた点も踏まえて今後ということで、お諮りしたいと思います。議案第 39 号、江沼神社庭園(旧大聖寺藩邸庭園)保存活用計画(案)について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○島谷教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議案件は終わります。続いて報告事項に入ります。報告第 38 号、令和 6 年 9 月加賀市議会定例会の答弁について小茂出課長お願いいたします。

- 報告第 38 号 令和 6 年 9 月加賀市議会定例会の答弁について
小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。プールの案件が多いんですけど、また改めて報告事項でご説明させていただきたいと思います。
続きまして報告第 39 号、不登校事業の目標値と実現に向けた取り組みについて北市次長お願いいたします。

- 報告第 39 号 不登校事業の目標値と実現に向けた取り組みについて
北市次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 いろいろと今年度に入ってまた新しい取組みを不登校事業に関しては進めていきますけれども、その一部についてのご説明でした。この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 不登校対策として、いわゆる C 群の取組みをなされることは大変有意義なことだと思っています。その中で一つ、メタバースの部屋を開設したと。8 月 29 日から約 2 週間のトライアルでメタバース空間を作りましたと書いてあります。正式には 10 月からオープンだということで、そのトライアルの周知は C 群の子ども達には伝わっていると思うんですけども、その 2 週間の間ですね、もう終わったと思うので、どのぐらいの頻度でこの空間に参加してきたのかということのデータが分かれば教えてください。

○島谷教育長 北市次長、お願いします。

○北市次長 C 群全員にお知らせをしまして、1 名の生徒が冷やかしではなく本当に入ってきました。常に会話を求めておりまして、うちのスタッフと会話することにより、学校でもつながることができるという事案が 1 件ございました。トライアルでは 1 名が実際にあったということです。

○島谷教育長 のぞきにきた子はもうちょっといましたよね。

○北市次長 ちょっとだけ見た子はいたんですが。

○島谷教育長 継続的に入ってきた子は 1 名と。

○篠原委員 26 名のうちで本格的に入ってきたというのが 1 名、あとはちょっとなんだろうなという子は何人かいたということですね。もう少し詳しく教えてほしいんですが、このメタバースの部屋というのはどういうことをするんですか。

○北市次長 そこに入りまして、そこにスタッフがおります。

○島谷教育長 キャラクターで入ります。

○北市次長 スタッフというのは分かるようなかたちでおりますので、そのスタッフにチャットで声をかけることができますし、もし仲よくなればお互いに顔を見せたりすることもできると。そこまでのことは想定していませんが、パソコン上で会話ができればいいかなというふうには考えておりました。

○篠原委員 その空間に誰かスタッフ 1 名がいて、1 名だけいらっしゃるわけですか。

○北市次長 場合によっては 2 名です。

○篠原委員 例えば今後これがどんどん活用されるというようなイメージとしては、いわゆる C 群の不登校の子ども達がその中に入ってきて、お互いに会話をしたり、あるいはスタッフと会話をしたり、ここで学習するということもできるんですか。

○北市次長 基本的に会話が中心でございまして、そこから次のところへつなげたいというふうに考えております。

○篠原委員 ここで学習するんじゃないくて、今こんなことで困っているとか、どうなんだとか、そういう話をするわけですね。

○北市次長 はい、基本的にひきこもりで昼夜逆転している子ども達がいた場合に、昼に起きてここに来るだけでも価値があるかなと。そこで会話をすることによって生活リズムを整えることもできる、いろいろな居場所の一つとしてできないかと考えております。

○篠原委員 今の場合 1 名の事例があったということで、そのことについては保護者も当然ご存じだと思うんですけど、保護者からは例えば昼夜逆転していたのが、昼間に起きるようになったとかそんなようなことを聞いていますか。

○北市次長 そこまでは聞いておりません。

○篠原委員 今後、例えばその場所へ行ったら何か面白いことができるとか。ただしゃべるといっても、あんまり別にいいわとなるじゃないですか。その場所に行ったら変わったゲームができるとか。それはゲームが必ずいいとは思いませんけれども、何らかのかたちでその子にとって楽しいような居場所、楽しいような空間づくりができるような、そういうような場所にしてもらえないかなというのが私の願いです。今はそれぞれ個々で分かれて家の中にひきこもっている状況、外に出ている場合もあるかもしれませんが、そのような状況だというふうに判断されますので、ただしゃべるといってもあまりそんなにメリットがない、先生なんかいやだなとなるので、何かそこに行ったら楽しいことができるよとか、そういうものがこの場所にあるからぜひおいでよとかね。例えば支援センターみたいに実際にそこに行ったら友達と顔を合わせて喋ったり楽しいボードゲームをやっていますよね。そのようなことがメタバース空間でもできるようなものをコンテンツとして取り組まないと、なかなか子ども達は入ってこないんじゃないかなというふうなことが予想されます。いくら入れと言われてもまあいいわとなるだけの話なので、例えばそこへ行って何らかのかたちで子ども達が入ってこられるような空間というのをぜひつくっていただければと思います。それこそ今教育委員会にいらっしゃる若手の職員の皆さんの声なんかも反映して、我々の感覚は古いので、そういう職員の方の考え方を聞いていただければ、せっかく作ったメタバース空間がただあるだけでは意味がないので、それを活用してもらわないといけない、活用してそれが学校につながっていけば尚いいし、別に私はつながらなくてもいいかなとはまずは思っているんですよ。それが例えば学習につながるともっといいですが、別にそんなに慌てなくてもいいかなとは思っていますので、まずきっかけとして、どこもつながることがない子ども達が、この空間の中に入っていくことによっていろんな方とつながる、いろんな楽しみが増えたというような体験ができるような空間にしたい。非常に抽象的なことと言って申し訳ないんですけども、せっかく作ったんだから、もっとたくさんのいわゆる C 群のお子さんたちが活用できるような場所にしてほしいなと願っております。よろしく願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○山下委員 こちらにつきましては言いたい意見がたくさんあるんですが、まずこの活用時間帯というのは決めてあるんですか。

○北市次長 はい。

○山下委員 そこに必ずスタッフが常駐しているんですね。

○北市次長 はい。

○山下委員 このメタバースは、私は有意義に使えると可能性はあると思います。というのは、もう 20 年 30 年前にブログをアメブロにしたときに、アメーバビグというのがありまして、遊べるんですよ。面白いんですよ。これを作ったのは独自、それとも外注ですか。

○北市次長 一応既存のもので。

○山下委員 外注で増やすのであれば、例えばここにロールプレーイング系のものがあって、お花を育てますといったら、毎日水をあげに来ないと枯れちゃうんですよ。自分の花を置いて、お花に水をあげに行きますよという、そういう繰り返し来られるような何かツールであるとか、果物・植物を育てるとか、そういうツールをいれていくと必ずスパンで来ないといけないんですね。これはもちろんアメーバは商売でありますから、何とか来てもらってそれを今度課金につなげようとしているわけなんですけども、でもそれは多分繰り返し来ていただけるとつながると思うんです。そういうのはできないのかなというのと、分母が少し少ないので、C 群からもし B 群くらいまで上げていって少し増やしていくと、もちろん仮想上の友達ですが、先生と話をより友達で声かけする方がしやすいと思いますし、じゃあ明日何時頃また来ようねとか、たまに行くとき最近見えなかったねとか、要するに面と向かって普通の空間の場でしゃべれなくても、この中ではしゃべられるようになっていくというのが、さっき学校に戻らなくてもいいというのはもしかしたらそうかもしれないんですけども、この中でコミュニケーションがとれる、先生ではなくて友達同士でできるというのは一つ非常に有意義だと思います。既存のものでプラスアルファができるとまたどんどんお金がかかってくるかもしれないんですけども、何かそういうロールプレーイングのもの、なにか育てるものをここに置いていく、そしてそれを指示するスタッフ、SSW もいると思うんですが、声掛けをする、そうすると何かここで自分のことを話ができるようになるという空間になるのかなと思うので、今アメーバビグがあるかわかりませんが、誰か入ってみて楽しんでいただくと、ハマると思います。そんなふうなのを活用できればと思います。少し分母が少ないと思うので、多くあげていけばまたこの中でいじめが発生する可能性もあるんですが、それはスタッフさんがいて必ず強制終了とかいろんなことができると思うので、もちろんずっと 24 時間見ているスタッフも大変かもしれませんが、非常に有用なツールだと思っておりますし、期待をしておりますので、いろいろ発展させていただきたいと思います。

○島谷教育長 チャットブリッジも近いものがあると思いますけども、やはり素性がバレずにいろいろ話ができるとか、これもなにかその点が一つかなと思いますが、やってみないと来るかどうかはわからないみたいなのところがあったので、まずは先行でトライアルということで今回やらせていただきました。全員が全員にハマるものではやはりないので、今回たまたま本当にハマった子が継続的に遊びに来てくれているというかたちでうまくつなげることができましたけれども、ちょっとあの手この手を使ってという感じで、何とかとにかくつながりをつくるというところを目標に今年度は頑張っていきたいと思います。佐野委員いかがですか。

○佐野委員　　こういうのでつながるといふのを考えていかなくちゃいけないといふのはちょっと寂しい感じもするんですけど、説明を聞いていたらどうぶつの森みたいな感じなのかなと思って、実際今やってみたら、それはすごいやっぱり楽しいんですね。山下委員がおっしゃっていたようにお花に水をあげないと枯れるとか、自分で村を守っていくためにしなくちゃいけないとか、やっぱりそういう自分に課せられたものが何かしらこの中であるといふかなという感じはしますね。せっかく作ったのであれば。

○島谷教育長　　ありがとうございます。新滝委員、いかがですか。

○新滝委員　　入ったことありますけれども、何をするというわけではないんですね。やっぱり居場所のひとつという感じになればいいなと思います。

○島谷教育長　　ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。本格実施に向けてまたいただいたご意見を踏まえながらやっていきたいと思いますので、また随時ご報告できればと思います。

続きまして報告第 40 号、台湾国立嘉義大学附属実験国民小学校交流事業について北市次長お願いいたします。

● 報告第 40 号 台湾国立嘉義大学附属実験国民小学校交流事業について
北市次長 資料に基づき説明

○島谷教育長　　この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員　　この交流事業は、26 名というわずかな人数で行かれるんですけれども、例えば向こうで何か交流しているものをビデオに撮ってきて、後日映像で見せるとか。最終的に私はこれをタイムリーに当日でオンラインでできないかなと考えているんですけれども、要するに、今現在こんなことを台湾としていますと、もしかしたら全国一斉にモニターを見て、一緒に交流している気分になるという、そういうツールがあるといいのかなといふのはこれは意見でございますし、ただ、行ってきたといふのを何かしら映像で残していただいて、児童に何かしらのときに見せてあげるといふのは大事なかなと思いますので、検討はありますでしょうか。

○島谷教育長　　北市次長、お願いします。

○北市次長　　記録を取ることは考えておりますので、その広報につきましてはまた検討いたしたいと思っております

○島谷教育長　　各学校で発表とかするんですしたか。

○北市次長　　学校によります。

○島谷教育長　　行く子は本当にものすごく下調べをして、台湾のことを勉強してやってきたという子が選ばれているので、その辺りフィードバックする子もたくさん出てくると思います。他、ございませんか。

○篠原委員　　フィードバックをぜひしてください。ただ行って、選ばれた個人だけがよかったとかそういうことじゃなくて、やはり各学校の代表というかたちで行っていらっしゃるといふうに自覚していただいて、各学校で、学校全体でできない学校もあると思いますけれども、せめて学年とか自分のクラスとかでは必ずその行った中身についてお話ししていただくような機会をぜひつくっていただきたいです。これは比較的加賀市の予算をたくさん使っているので、

行くことによってこれからのその子のいろんな知見が広がっていく、あるいはそのことを個人だけのものにするんじゃなくて、学校全体のものにしていただきたいので、そういうことも併せてお願いしたいと思っております。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○新滝委員 希望者というのはどれくらいいたんですか。

○島谷教育長 北市次長、お願いします。

○北市次長 100 名以上おりました。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

では続きまして報告第 41 号、2024 KAGA Education PLAYER'S Day について北市次長お願いいたします。

● 報告第 4 1 号 2024 KAGA Education PLAYER'S Day について
北市次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 昨年に引き続きということで、この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○佐野委員 作見小学校は駐車場はグラウンドも使うんですか。あと出入りの問題とか特に気を付けていただきたいです。

○島谷教育長 基本的にバスで全部移動するようにするので、バスで全員駅に集めてそこから全員バス移動になるので、出入りがすごく増えるということは、基本的にはないように配慮はしています。

○佐野委員 私たちが行くとしたら車ですよね。

○北市次長 はい。正面の駐車場に。

○篠原委員 市内の先生もたくさんいらっしゃるんでしょう。

○北市次長 県外の方がかなり多いです。

○佐野委員 よくご存じなら構造は分かるんですけど、たまにちょっと一方通行なので怖いです。

○島谷教育長 その辺ちょっとスタッフを置きながら気を付けたいと思います。他、ございませんか。よろしいですか。それではまたお時間があるときに覗いていただければと思います。

続きまして報告第 42 号、「すゑひろがりずと楽しむ狂言の世界」公演について前田課長お願いいたします。

● 報告第 4 2 号 「すゑひろがりずと楽しむ狂言の世界」公演について
前田課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 43 号、加賀市屋内プール整備基本計画について山村次長お願いいたします。

● 報告第 4 3 号 加賀市屋内プール整備基本計画について

山村次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 この件については先日、議会などでも市長さんがいわゆる中央公園ではなくて、加賀温泉駅周辺で行いますということを発表されましたよね。ということで、いろんな費用の財政負担等々があると思うんですけども、例えば今の中央公園だったら、もう既存の建物ですし土地は全部市のものですよね。加賀温泉駅周辺に移すとしたら、民間用地ですから当然、用地買収費が必要だと思うんですけども、それも入れたこの試算ですか。

○島谷教育長 山村次長、お願いします。

○山村次長 資料のほう 27 ページをお開き願います。今ほど、篠原委員がおっしゃったこの数字についてお示しをさせていただいております。先ほど、中央公園内で二つの候補地ということで、既存の屋内プールの横にあります、今使用停止しております 50 メートルプール跡地、それから松が丘側の入り口にあります第 2 駐車場、ここにつきましては駐車場につくりますと駐車場が減りますので、一部、隣接する民地の買収も含めまして試算を行っております。それぞれそこに概算の事業費の方をお示しさせていただいておりますが、先ほど候補地として選定をしました第 2 駐車場の概算の事業費、こちらを踏まえまして、加賀温泉駅周辺につきましても、それ以内ということで 31 億円以内の想定ということで、公募をかける予定をしております。これは土地も含めてでございます。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。とにかく早くというようなスピード感がだいぶ求められているんですが、ひとつずつやっていければというふうに思っております。

では続きまして報告第 44 号、「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024」の開催結果について山村次長お願いいたします。

● 報告第 44 号 「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024」の開催結果について

山村次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 45 号、任期満了に伴う教育委員会委員の任命について小茂出課長お願いいたします。

● 報告第 45 号 任期満了に伴う教育委員会委員の任命について

小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 引き続きまたよろしくお願いいたします。

予定してありました報告案件審議案件は以上になりますが、その他連絡事項を庶務課からお願いいたします。

● 第 7 回 EDIX 関西スケジュールについて

- 給与支給明細書兼振込通知書等の配布方法変更について
小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
では次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について
小茂出課長 説明

○島谷教育長 10月15日火曜日、午前9時半からということで予定に入れておいてください。
それでは公開で予定されておりました案件につきましては以上になります。ご苦勞様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。